

令和7年度 大阪府立東住吉総合高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

日時：令和7年5月22日（木）14:00～15:30

場所：大阪府立東住吉総合高等学校 TRY ルーム

1 開会

2 学校長挨拶

3 出席委員紹介

株式会社富士精機 代表取締役社長	田村 孝	委員	
喜連西地域活動協議会 会長	蔦屋 勉	委員	
陽親会 理事	宮崎 日和	委員	
大阪府立東住吉総合高等学校 P T A会長	前田 かおり	委員	計4名

4 会長および副会長の選出

会長に田村委員、副会長に雑賀委員が全会一致で選出された。

5 各部署報告

(1) 令和6年度学校経営計画、令和7年度学校経営計画について

令和7年度学校経営計画の重要な点について説明。

(2) 各部署より報告

①生徒指導部

懲戒案件の未然防止の観点より、見回りなどを積極的に実施する。校内では授業開始時の服装指導など、メリハリのある指導をこころがける。

②進路指導部

現3年生についてはフリーター、進学を希望する生徒が増加している。進路実現を成し遂げる指導を行っているが、今後は1年生より将来を見据えた指導が必要であると感じている。

③保健指導部

熱中症対策や災害対策、避難訓練で防災感覚を向上させるような取組みや校内美化に取り組む。

④総務部

今年度は奨学金申請者数、今年度入学生のP T Aの加入者数は減少している。そのため、P T Aについては、年度予算の見直しを行う必要がある。

⑤システム管理部

今年度よりシステム管理部を新設した。システム管理部は学校として魅力的な授業を展開できるような土台づくりや校内I C T機器の管理を中心に行う。

⑥3年次

学年目標として「自立と自律」をモットーに掲げている。現在の 204 名全員での卒業をめざす。あわせて、社会に出るために自分を磨かせる指導にも力を入れる。

⑦ 2 年次

「まなびなおし」の一環として、学習管理システムを運用している。来年の希望する進路決定に向けて、インターンシップおよびオープンキャンパスに積極的に参加させ、資格取得にも力を入れる。

⑧ 1 年次

中途退学の減少や進路実現に向けた取り組みを学年主導で実施する。勉強が苦手な生徒に向けて担任を中心に学力向上をめざす。

6 協議・助言

(1) 学校運営協議会実施要項の確認

学校運営協議会実施要項について承認された。

(2) 保護者からの意見書の提出状況

令和 7 年 5 月 22 日現在、意見書の提出はなし。

(3) 質疑応答

Q：先生は A I を活用しているか。このことにより、業務量の軽減に繋がっているか。

A：活用はしている。A I で座席表や時間割の作成ができるようだが、作成の前段階での準備や操作が思っている以上に時間がかかること、また負担が大きいことを鑑み、実用することは現段階では、まだまだ難しい。

Q：今春の入学生 P T A 加入率の低下もあり、今後さらに P T A 加入率の減少が懸念される中、今まで活動していたことができなくなるため、活動内容の再考や縮小をする必要があるが、このことについてどのように考えるか。

A：当然、活動内容のあり方を再考する必要は感じており、場合によっては縮小することも考えていかなければならない。

P T A の加入については、年度途中でも加入できるので、保護者面談などの場でも加入をお願いしていくことになる。

(4) 助言内容

生徒指導面について、生徒の学校外での様子や自転車の乗車マナーなどが悪いことを見かけることが多い。地域の園児や小学生に迷惑をかけている部分もあるので指導を徹底してほしい。

7 その他

第 2 回学校運営協議会

日時：令和 7 年 10 月 30 日（木）14:00～（予定）

内容：本校が採択した教科用図書の閲覧、授業見学

8 閉会